

## 2007年度第1回Lラーニング学習支援システム研究分科会記録

---

日時 2007年5月15日 13:00～18:00  
場所 駒澤大学図書館4階会議室  
参加者 阿部(東京歯科大学)、小田切(麻布大学)、金子(早稲田大学)、田代(日本女子大学)、  
高野(オブザーバー)、守重(オブザーバー)、佐藤(駒澤大学 記録)  
配布物 第1回Lラーニング学習支援システム研究分科会タイムテーブル  
2007年度予算計画書

---

### 1. 事務連絡

- ・ 2007年度予算計画書を私立大学図書館協会東地区部会に提出した。
- ・ サーバのレンタルを半年契約で行った。Xoops、TakaQを移行作業中である。

### 2. Moodle の検討

- (1) 前回の決定事項に従い各設定を行った(阿部氏)
- (2) 用語集のインポートについて
  - ・ 大阪国際大学の用語集をMoodleへ取り込んだ。許諾については確認中とのこと。
  - ・ 問題文中に用語集に登録された言葉があれば、自動でリンクされることが確認された。
- (3) 問題のインポートについても完了している。
- (4) 参考図書リストの活用について
  - ・ 用語集の一つを参考図書リストとする。
  - ・ 用語集の検索はできないことが確認された。
- (5) 教材の記述方式について
  - ・ 高野氏から教材部分の記述方式について提案された。  
現在のLラーニングでは箇条書きであるが、他のEラーニングでは解説文となっていることが普通である。
  - ・ 他のEラーニング学習ソフトを参考にすると、授業の単位ごとにその授業に即した小テストが出題される。現在のLラーニングは教材と連携していない。確認のための小テストとして整合性を取る。
  - ・ 単元の小テストとは別に、授業ごとに小テストを設ける。
  - ・ 記述方式の統一を図る。
- (6) 図書館員に役に立つEラーニングリンク集の作成
  - ・ Eラーニングリンク集やカレントアウェアネスから収集
- (7) 他のEラーニングを参考にし、Lラーニングの改善を図る。
  - ・ 比較調査項目の検討
- (8) 新しい提供方式の検討  
次のような提供方式が提案された。実現性やそれぞれの特徴を考えた活用方法を検討する必要がある。

#### 携帯電話

- ・ 仕事の合間、通勤時間などで学習できる。自学自習の目的に適切である。
- ・ Moodle にはモバイル版は存在しない。(阿部氏)

#### 動画

- ・ YouTube 図書館員向け動画
- ・ カレントアウェアネス掲載記事から、アメリカでの事例を検証。

#### ポッドキャスト(音声)

コンテンツDS(参考意見)

#### (9) コンテンツクリア式問題提供

- ・ コンテンツをやり遂げなければ次へ進めない。コースをクリアするとキーが表示される。このキーを使わなければ、次のコースをやることができない。
- ・ Moodle ではコース単位でのキー設定・コース内パスワード設定ができるため、可能。

### 3. 問題の検討

#### (1) 携帯電話向け小テスト

- ・ 2~4択とする
- ・ 問題文 25~30文字

#### (2) 参考図書を利用した問題

- ・ 参考図書を回答選択肢にし、調べるためのポイントを記入する。
- ・ 実際に調べさせる方法の検討  
実際に調べないとわからない単語を答えさせる(キーワード、クロスワード)  
画像とタイトルを結びつける。Moodle 選択肢に画像表示可能  
「どれがどれでしょう」調べられるか 等
- ・ 代表的な参考図書をきめ、それについての問題を作成する。
- ・ 宿題  
「参考図書を使わせる」選択肢が参考図書 問題作成方法の検討+例題

#### (3) 小テスト

- ・ それぞれの単元の小テスト:各自2問 宿題

### 4. その他

#### (1) 次回開催までの宿題

体系問題の効果的な出題方法(画像・動画・パソコン・携帯電話など)を他のEラーニングプラットフォームを参考に検討する

阿部氏、池田氏、高野氏、佐藤

参考図書を使った問題作成方法

小田切氏、金子氏、田代氏、守重氏、豊田氏

小テスト

全員必須

#### (2) 次回開催予定

早稲田大学

2007年7月31日(火)

以上